

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2022年 vol.38



▲胃腸の病気に悩む全ての患者さまひとりひとりへ、最適な医療の提供を心掛けています。お気軽にご相談ください。

特集 消化器内科の特色について

がん診療コーナー 大腸がん

お知らせ ご寄附に対するお礼とご紹介 ほか

もっと知りたい 臨床検査技師

地域の絆 きど整形外科

ひこしまこどもクリニック

2022.9.1 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

基本理念

安心の優しい医療を提供し、
市民から信頼される病院を目指します

基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。



特集

消化器内科の特色について

▲（左から）消化器内科医師 野坂 佳愛、消化器内科医長 保利 喜史、消化器内科医師 長友 寿郎

消化器内科医長

保利 喜史
ほり よしふみ

はじめに

下関の皆さま、初めまして。令和4年4月より消化器内科に着任いたしました保利喜史と申します。北九州市生まれ、北九州市育ちです。海を越えてやってまいりました。

下関市立市民病院では卒業後4年目に勤務経験があり、近隣の開業医の先生方、病院スタッフ、患者さまから多くを学び、それ故、この度10年ぶりに再赴任が決まった瞬間、懐旧の念を禁じ得ませんでした。

当科には、私を含め、九州大学病院より赴任している、野坂、長友の3名の医師が在籍しており、胃腸の病気に悩むすべての患者さまひとりひとりへ、最適な医療を施すべく、日々精進していく所存ですので、何卒よろしく願います。

今回は、当科の特色について、ご紹介したいと思います。

炎症性腸疾患

（潰瘍性大腸炎、クローン病）

当科には、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）に悩む患者さまが、下関市のみならず、近隣の県市区町村から多くご来院いただいています。

当科における炎症性腸疾患診療の特色として、難治性（再発を繰り返す、なかなか治らない）の潰瘍性大腸炎、クローン病患者さまに対しては、抗TNF α 製剤、IL12/23モノクローナル抗体製剤、 α 4 β 7インテグリン阻害薬、JAK阻害薬等の生物学的製剤、低分子化合物製剤の導入により、寛解状態（下痢、血便、腹痛などの症状を認めない状態）を維持している患者さまが多くいらっしゃることで。また、内服（飲み薬）、局所製剤（お尻から注入するお薬）、注射製剤以外では、顆粒球除去療法を透析センターと協力して行い、寛解状態を維持している患者さまもいらっしゃいます。

近年、小児、10歳台の患者さまが増加傾向にあるとともに、炎症性腸

疾患に悩む患者さまの高齢化も著しく、他の病気とのかわりや、COVID-19流行下における治療方法の工夫などが課題となっています。

内科的治療（お薬）で治らない患者さま、狭窄（消化管が狭くなっている）、膿瘍（膿みの固まり）形成、肛門病変を有する患者さまなど、外科的治療を必要とする症状においては、当院外科、近隣の医療機関、九州大病院と連携して診療にあたっています。

炎症性腸疾患の領域においては、新しい治療法の開発が目覚ましく、当科では最新の医学的根拠に基づいた治療を実践しています。

潰瘍性大腸炎、クローン病に関しては、しっかりと治療を行えば、より良い暮らしができる病気です。われわれと一緒に、頑張りましょう。



▲顆粒球除去療法[G-CAP]の様子

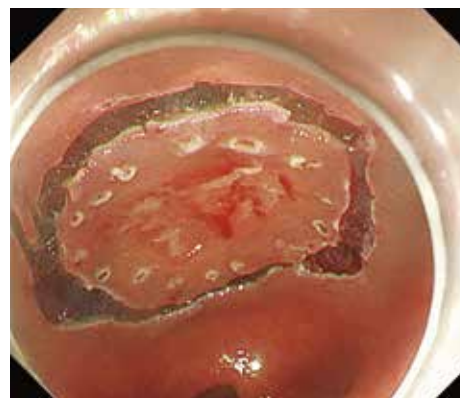
消化管腫瘍の診断と治療

外科、放射線部、病理診断科、緩和ケア内科他、一丸となって診療にあたっています。なかでも、消化管腫瘍診療における当科の役割の一つとして、内視鏡検査（胃カメラ、大腸カメラ）があります。

近隣の開業医の先生方よりご紹介いただき、当科では、年間約5,000件（胃カメラ3,500件、大腸カメラ1,500件）の内視鏡検査を行っています。

特に、最近では大腸がんに罹る患者さまが増加傾向にあり、大腸カメラを希望される患者さまのご紹介が多いです。ご希望に応じて、鎮静剤を用いた、可能な限り苦痛の少ない内視鏡検査も実施可能です。担当医師にご相談ください。

その他、当科の消化管腫瘍における取り組みとして、消化管腫瘍の中でも、早期がん（胃がん、大腸がん）の一部に対して、内視鏡治療を行っています。また、大腸ポリープ切除に関しては、日帰りでの治療も多く行っています。



▲早期胃がんに対して内視鏡治療(ESD)を行う様子



▲大腸ポリープに対して内視鏡治療(EMR)を行う様子

小腸疾患の診療について

最近では、胃カメラ、大腸カメラでは診断がつかない、小腸の病気（炎症性腸疾患、小腸出血、血管性病変、腫瘍など）も増加傾向にある。

り、小腸検査を行う機会が非常に多くなっています。当科でも、ダブルバルーン小腸内視鏡検査、カプセル内視鏡検査の特殊内視鏡検査も行っています（※医療物品のお取り寄せに時間を要する場合があります）。

ご希望の際は、担当医師にご相談ください。

おわりに

当科では、これからも地域にお住まいの患者さまと医療関係者の皆さまに、最善の貢献ができるよう努めてまいりますので、胃腸の病気でお困りでしたら、お気軽にご相談ください。



▲外来診療を行うスタッフです。



大腸がんについて

大腸がんは大きく分けて、親からがん遺伝子を引き継いだ「遺伝性大腸がん」と細胞が突然がん化する「散発性大腸がん」に分かれます。遺伝性大腸がんは全大腸がんのわずか5%程度で、ほとんどが散発性大腸がんです。

大腸がんは、リスク要因として、飲酒が確実、肥満がほぼ確実、喫煙、糖尿病、加工肉、赤肉が可能性ありとされています。予防因子として運動がほぼ確実、食物繊維、カルシウム、魚由来の不飽和脂肪酸が可能性ありとされています。

罹患率

2019年に発表されたデータで

は、大腸がんは男性のがん罹患の第4位、女性のがん罹患の第2位に位置し、男女計では最も罹患の多いがんになっています。

大腸がん治療

大腸がんに対する治療方針は、原則的に壁深達度(がんの深さ)、リンパ節転移、遠隔転移の組み合わせからなるステージに基づいて決定されます。

早期大腸がんでは内視鏡的切除術が可能ですが、がんがある程度の深さ以上になってくると、リンパ節転移を来してくるため、リンパ節郭清を伴う大腸切除術が必要になります。

近年は主に腹腔鏡下手術で行われることが多いですが、高度進行

がんになってくると開腹術が行われます。腹腔鏡手術の適応として、腫瘍の最大径はおおむね7cm以下のもので、広範なリンパ節転移を伴わない症例とされています。

治療成績として、相対5年生存率は、結腸がん71.6%、直腸がん70.1%と、他の部位(胃がん64.6%、食道がん37.2%、肝臓がん32.6%、すい臓がん7.7%)より上回っています。

早期がんは自覚症状が出ることがほとんどないので、ご自身の命を守るため、がんの早期発見には検診を受けることが何よりも大切です。

<外科医長> かやしま ただし 萱島 理

【連載 エッセイ】

小児外科のご紹介

小児外科の山口と申します。小児外科について、簡単にご紹介いたします。

一口に「こどもの外科」といっても、その診療内容は多岐にわたります。

まず一つ目は年齢です。小児外科では、主に新生児から中学生までのお子さんのうち、手術を必要とする患者さまを対象としております。時には、体重1,000g

未満の超低出生体重児であっても、必要であれば手術を行います。一方で、長期的なフォローアップが必要な場合は、高校生や社会人であっても、小児外科医が手術を担当することもあります。

こどもの場合、それぞれの成長段階に応じて体格や機能が大きく変化するため、成長・発達に配慮した手術を心がけています。

そして二つ目は疾患です。小児外科では、消化器・呼吸器から泌尿器・付属器・頭頸部・体表臓器

と様々な臓器を対象とします。また、小児固形腫瘍や移植の手術を行う施設もあります。様々な臓器の手術に精通するべく、日々研鑽を積んでおります。

当院では、鼠径ヘルニアや陰嚢水腫(Nuck管水腫)、停留精巣、臍ヘルニアなどの日常疾患の手術を主に担当しております。原則入院は2泊3日で、手術の翌日には退院できます。一方で、緊急性の高い疾患や集中治療が必要な場合は、北九州の小児外科施設と連携を取り、ご紹介しております。

お子さんのことで気になることがあればいつでもご相談ください。今後とも当院の小児外科をよろしく願います。



小児外科医師 やまぐち よしき 山口 修輝

ご寄附に対するお礼とご紹介

市民病院からの お知らせ

hospital news



▲令和4年7月19日に寄附金受納式を行い、田中院長より大坪さまごきょうだいに感謝状が贈られました。

このたび、大坪博之さまよりご寄附のお申し出があり、令和4年7月19日に百万円を贈呈いただきました。大坪博之さまにお話を伺いましたところ、ご家族が当院へ入院された際の感謝の気持ちから、寄附に至ったとのことでした。

当院へのご厚意に、心より感謝申し上げます。心より感謝申し上げます。

貴重な寄附金は、病院運営に有効活用させていただきます。今後も安心、安全な医療の提供に努めてまいります。

2020 職場における腰痛予防宣言 金メダル施設認定!



職場における腰痛は労働衛生上の課題とされており、業務上疾病の約60%を占めています。2019年度、当院職員全員に腰痛に関するアンケートを実施したところ、職員の約50%が腰痛を抱え、また看護師に関しては、約60%が腰痛を抱えていることがわかりました。そこで衛生委員会の活動として、リハビリテーション部腰痛予防班、病棟、事務部が協同して環境因子である「作業環境の改善」をテーマに掲げて、職員の腰痛予防に取り組みました。

具体的な活動内容は、手上げ形式でモデル部署となった病棟に対し、①作業環境整備、②



勉強会（作業姿勢、福祉用具の活用など）を実施しました。モデル部署によって改善幅はありましたが、腰痛保有率を5〜20%程度軽減することができました。また、この取り組みは、日本理学療法士協会が行う「2020 職場における腰痛予防宣言！」事業に該当し、金メダル施設として認定を受けました。

※「2020 職場における腰痛予防宣言」事業は2020年1月より開始され、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による中断期間を挟み、2022年3月まで行われ、全国130施設が参加しました。

▲リハビリテーション部 副主任 鐘井 光明

市民病院フェスタ中止のお知らせ

例年9月に開催しております市民病院フェスタは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止いたします。

登録医の先生方へ

令和4年度下関市立市民病院地域医療連携の会は中止いたします。

当院で働く職員を紹介します。

もっとう 知りた い。

臨床検査技師



血液管理センターでの主な仕事内容を教えてください

輸血による治療（輸血療法）を行うための検査と、血液製剤の管理を担当しています。

臨床検査には、心電図や超音波などで体の機能を見る生理検査と、血液や細胞などを採取して調べる検体検査があり、さらに分野ごとにわかれています。輸血検査では、安全に使用できる血液製剤を準備する形で、患者さまに検査結果をお届けしています。

輸血療法は、手術やケガ、出血や病気で血液が足りない場合などに、血液成分を補うために行われます。このときに使う血液製剤は、献血

（自分以外の人の血液）から作られていることから、血液細胞の臓器移植として扱われます。患者さまごとに使える製剤が異なるため、適合性（投与して問題なく効果が得られるか）を慎重に検査し、安全に使用できる製剤を準備しています。また、手術予定にあわせた製剤の調達や、品質・情報管理などの管理業務も行っています。

輸血前に関する検査について教えてください

まず患者さまの血液型検査をします。血液型にはA B O型以外にも多くの種類があり、現在約350種類見つかっています。その後に、患者さまの血液と製剤の適合性を検査しますが、時には、数百本に一本しかない特殊な血液型の製剤を探すこともあります。緊急症例にいつでも迅速に対応するために、日頃からトレーニングを行っています。

1年間どれくらいの輸血量を使用しているか教えてください

約2,500本です。技術の進歩で、治療や手術に必要な輸血の量が少なくなっていくようになりましたが、まだまだ輸血を欠かすことはできません。自分も努めて献血に協力していきます。

仕事をしていく上で大切にしていることは何ですか？

「心に愛を手に技を」と「そなえよつねに」を心がけています。母校と、所属していたガールスカウトのモットーです。

患者さまに直接お会いする機会はありませんが、医療現場を支える裏方として、日々の業務に励んでいます。

休日の過ごし方や、最近ハマっていることなどを教えてください

近所の方にいただいたメダカの飼育です。水質調整や微生物の培養などで、臨床検査の知識が思いがけず役立っています。メダカの大家族化がどんどん進み、着実に水槽が増えています。



▲検査部は検査結果を迅速に正確に提供することで、診断や治療に貢献しています。

輸血のお話

看護師 だより Vol.6



看護師
救急センター副主任
たむら まさこ
田村 将子



けがや病気で大量出血したり、また血液を作ることでできない疾患の治療には、輸血が必要です。

輸血に使う血液製剤は、献血いただいた貴重な血液からできています。この貴重な血液製剤を、安全・確実に患者さまに輸血するために、当院ではルールや手順を確立し、看護師は細心の注意を払って業務を行っています。また、副反応がないかを観察するのも重要な仕事です。

患者さまに安心して輸血を受けていただくために、臨床輸血看護師、学会認定・自己血輸血看護師として輸血リンクナース会や研修を定期的に開催し、どんな状況でも安全に輸血できるよう、看護師の教育や輸血看護の質の向上のために取り組んでいます。

地域の絆

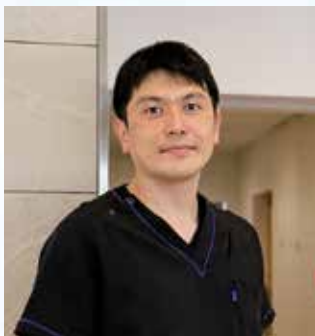
当院と連携している医療機関等を紹介します。
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 地域連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

きど整形外科

院長 城戸 聡 先生



きど整形外科の城戸聡です。当院は1992年に父（城戸正詩）が下関市立中央病院（現市民病院）のお膝元である東駅で開業し、30年に渡り診療してきました。この度稗田町に新築移転し2022年5月より父との二人体制で診療しています。私は2006年に九州大学を卒業し母校の整形外科学教室に入局しました。同年から3年間市民病院で研修し、その後は九州大学病院や関連病院を回り、2012年4月からは山口赤十字病院整形外科で10年間勤務し、足の外科や関節外科、骨粗鬆症を専門にし、その他スポーツ障害、腰痛、関節リウマチ、外傷など急性疾患から慢性疾患まで幅広く診療を行ってまいりました。

正しい診断こそが病気の治療につながるということをモットーに、今回の移転を機会に整形外科専用のオープンMRIを導入しました。脊椎疾患、関節疾患、外傷（骨・靭帯・筋肉など）などの多くの疾患の診断に非常に有用です。さらに理学療法士による運動器リハビリテーションも開始しました。また、従来より行っておりますばね指、手根管症候群、陥入爪、粉瘤などの皮下腫瘍の手術は日帰り外来で行っており曜日を問わず可能です。今後も地域医療に貢献できるように努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

〒751-0858 下関市稗田町9番30号 TEL：083-227-4886 <整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科>
月・火・水・金：8:30～12:30、14:00～17:30 木・土：8:30～12:30（午後休診）

ひこしまこどもクリニック



院長 河野 祥二 先生

私は1999年4月から2021年3月まで下関市立市民病院小児科で勤務をさせて頂きました。2022年4月から彦島のやまぐち小児科を承継し、ひこしまこどもクリニックと名称を変更して診療を開始しました。施設を有効活用し、新型コロナウイルスなどの感染症患者さんの安全な診療を行うために改装を行い、5月9日からリニューアルオープンしたところです。



私は下関の小児医療に関わって24年目になります。地域の少子化に伴い総合病院小児科は5病院から3病院に減ってしまい、市内の小児科専門医は半数に減少し、開業小児科医の平均年齢は毎年上がっています。私は子ども達の診療が自分の本分と思い承継開業を決心しましたが、下関の小児医療提供体制は心配な状況にあると思っています。

ある自治体の市長が「日本は子どもに冷たすぎる」と発言し「子どもを本気で応援する仕組み」を提言しています。私も全く同感です。社会全体が子どもに優しい眼差しを向ける国（下関）になりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

〒750-0075 下関市彦島江の浦町1-5-24 TEL：083-267-0300 <小児科・アレルギー科>
月・火・水・金：8:30～12:00、14:00～18:00 木・土：8:30～12:00（午後休診）

外来診療のご案内

2022年 9月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科		曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科			保利 喜史/長友 寿朗	野坂 佳愛	保利 喜史	野坂 佳愛	長友 寿朗
内科・呼吸器内科			川口 貴子(※)(午前)				鳥井 亮(※)(午前)
内科・循環器内科			金子 武生/野田 裕剛	金子 武生	安田 潮人	辛島 詠士	辛島 詠士/有馬 岳史
禁煙外来(午後・予約制)					金子 武生		
内科・腎臓内科				坂井 尚二	安宅映里(※)(午前)	中村 亜輝子(※)(午前)	
内科・血液内科				久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科			大田 俊一郎 甲斐 達也(※)(午前)	大田 俊一郎 (地域連携室 紹介のみ)	大田 俊一郎 久志本 和郎	木村 光一(※)(午前)	大田 俊一郎 久志本 和郎
糖尿病内分泌代謝内科			河野 倫子	木村 倫子	河野 倫子	河野 倫子	木村 倫子
神経内科(午前中・予約制)					本田 真也(※)		
精神科					原 正吾(※)		
心臓血管外科				上野 安孝/鬼塚 大史		上野 安孝/栗栖 和宏	
外科	午前		萱島 理/宮竹 英志 中原 千尋	川地 眸 中原 千尋	大谷 和広 宮竹 英志	萱島 理	川地 眸 大谷 和広
	午後		院長外来(院外紹介) 萱島 理/宮竹 英志	乳腺外来 川地 眸 中原 千尋	大谷 和広	ストーマ外来(第2・第4) 萱島 理	乳腺外来 川地 眸 大谷 和広 ストーマ外来(新患)第2・第4
呼吸器・感染症外来(呼吸器外科)			吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一(要相談)	吉田 順一
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)				井上 政昭		井上 政昭/名部 裕介	名部 裕介(午前) 上田 彩加(午後)
脳神経外科			中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/藤井 裕太郎	中村 隆治/尾中 貞夫		中村 隆治/尾中 貞夫 藤井 裕太郎(午後)
整形外科	再診		大崎 祐一郎/石田 彩乃	太田 浩二/木原 大護	山下 彰久(午前) 橋詰 惇	原田 岳	渡邊 哲也/鶴 翔平 白澤 建藏(※)
	新患		太田 浩二 橋詰 惇	渡邊 哲也 鶴 翔平	山下 彰久(午後) 原田 岳/石田 彩乃	山下 彰久(午前) 木原 大護	大崎 祐一郎 白澤 建藏(※)(午前)
診療科	一診(初診)		山口 充浩	藤井 央法	吉弘 悟	藤井 央法	山口 充浩
	二診(予約のみ)		藤井 央法	吉弘 悟	藤井 央法	吉弘 悟	吉弘 悟
眼科			石村 良嗣	石村 良嗣	石村 良嗣	石村 良嗣 ロービジョン外来(第4午後)	石村 良嗣
放射線診断科				山砥 茂也			
放射線治療科			有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前) 小野 太輝(※)(午後)	有賀 美佐子
小児科	午前(予約制)	小児科			河野 祥二(※)		
	午後(予約制)	小児科			河野 祥二(※)		
小児科	午前(予約制)	心身症				大賀 由紀(※)(不定期)	
	午後(予約制)	心身症				大賀 由紀(※)(不定期)	
小児科		神経			綿野 友美(※)(不定期)		
小児科		外科			山口 修輝/九大派遣医師(※)	中村 晶俊(※)(第2・第4午後)	
産婦人科	午前(一般外来)		前田 博敬(第1・第3・第5) 川崎 憲欣(※)(第2・第4)	前田 博敬	前田 博敬	前田 博敬	
	午後(更年期外来)			前田 博敬(予約のみ)			
疼痛外来 ペインクリニック内科	午前			藤原 義樹(※)			藤原 義樹(※)
	午後			藤原 義樹(※) 午後の外来は13~14時受付			門脇 史宜(※)
皮膚科			内田 寛/橋本 紗和子 午後の外来は13~14時受付	内田 寛(午前) 橋本 紗和子(午前)	内田 寛/橋本 紗和子 午後の外来は13~14時受付	内田 寛(午前)/橋本 紗和子(午前) 午後:手術	内田 寛/橋本 紗和子 午後の外来は13~14時受付
耳鼻咽喉科			平 俊明 近藤 玲未	平 俊明 近藤 玲未	平 俊明 近藤 玲未	平 俊明 近藤 玲未	平 俊明 近藤 玲未
歯科・歯科口腔外科			上原 雅隆 西川 健	上原 雅隆/西川 健 長畑 佐和子	上原 雅隆/西川 健 入学 陽一(※)(予約のみ)	上原 雅隆/西川 健 長畑 佐和子	上原 雅隆 西川 健
緩和ケア外来				牧野 一郎(午前中)(予約制)		牧野 一郎(午前中)(予約制)	
救急科(午前・午後)			中原 千尋/尾中 貞夫	尾中 貞夫	中原 千尋	中原 千尋/尾中 貞夫	中原 千尋

- ◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください。)
- ◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第3月曜日13:00~15:00(第3月曜日が休日の場合は第4月曜日)
- ◆ロービジョン外来(眼科外来:要予約) 視覚に障害があるため生活に何らかの支障を来している方への支援
- ◆整形外科は再診・新患ともに完全予約制です。急患はご相談ください。

病院の最新情報は
こちらから



地方独立行政法人
下関市立市民病院
SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号
TEL:083-231-4111(代表) FAX:083-224-3838
ホームページアドレス <https://shimonosekicity-hosp.jp/>
地域連携室(紹介予約) 専用TEL:083-224-3860 専用FAX:083-224-3861



禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。